



消費生活 豆知識

その契約、ちょっと待って！

おかしいな？と思ったら、消費生活センターへ

少しでも「おかしいな」と感じたら、その場で契約するのはやめましょう。一度契約をしてしまうと、解約も相手の承諾が必要です。悪質な業者を相手に、一人で解決するのは難しいこともあります。もし契約してしまっても、あきらめずに消費生活センターへご相談ください。

**特別価格！初回限定！効果抜群！
本当ですか？**

＝ケース2＝

テレビショッピングで「ヒザに効くサプリ！定価1万円のところ、980円！」との宣伝で、電話を掛けた。電話口で「定期購入だと毎月得になる」と言われ、試したいだけだったが、お得ならと承諾した。しかし次々と商品が届き、支払いも大変になってきた。購入条件として「5回の継続が必要」と言われ、やめたいと思っても簡単には解約できない状況になってしまった。

無料点検のはずが高額修理に

＝ケース1＝

「分電盤（ブレーカー）」を無料で点検します」と業者から電話があり、「無料なら」と了承した。後日、訪問してきた業者から「今すぐ交換しないと火事になる」と言われた。修理代が高額だったため迷ったものの、火事への不安から、その場で契約書に署名してしまった。



トラブル防止のポイント

悪質な手口を知っておく

「無料で点検する」と言って近づき、工事契約をさせるために「今すぐ工事をしないと大変なことになる」などと不安をあおるのが手口です。中には点検するふりをして壊していく事例もあります。知らない業者は家に入れない、迫られても安易に契約しないようにしましょう。

支払総額と購入条件を確かめてから

テレビショッピング、インターネット販売は自分の意思で申し込むため、クーリング・オフはできません。最低でも合計金額と購入条件、事業者の連絡先は確認をして、思った以上の買い物にならないようにしましょう。

地域で見守り強化

高齢者や障がいのある方は、悪質な業者から勧誘を受けても、トラブルに気づくことが難しい場合があります。見慣れない人の出入りはないかなど、周りの人が「気づき」「声かけ」「相談へつなぐ」を実行し、消費者安全地域を築いていきましょう。

消費者トラブルに関する相談について、解決のお手伝いをします。
相談は無料です。

問

下妻市消費生活センター（市庁舎2階）

☎（44）8632



市長就任のごあいさつ

市民の皆さまと語らい、 ともに未来を描く

これからの市政で大切にするのは、市民の皆さまとの「対話」です。地域に足を運び、声に耳を傾けながら、目の前の課題と未来を見据えたまちづくりに取り組み、誰もが安心して暮らせる下妻を築いてまいります。

下妻市長 菊池 博

皆さま、こんにちは。
令和8年8月2日の市長選挙を経て、第22代下妻市長に就任いたしました、菊池博でございます。

多くの市民の皆さまからの信任を得て、再度、下妻市長として新たな一歩を踏み出しました。改めて、ご支援を賜りました多くの方々に深く感謝申し上げますとともに、去る6月15日にご逝去された須藤前市長の思いも胸に刻み、下妻市のさらなる発展に全力を尽くしてまいります。

これからの3期目で私が大切にしていきたいのは、「市民の皆さまと語らうこと」です。行政が抱える課題や、今後のまちづくりの方向性など、その時、その時の状況を正しく伝えていかなければならないと思っています。「きちんと伝えていく」という姿勢を大切に、時には自ら地域に向き、市民の皆さまと積極的な意見交換する機会を設け、下妻市が直面する課題をはじめ、市民の皆さまが疑問に思っていることなど、意見を交わしたいと思います。

課題は山積しております。熊本では大地震が発生し、亡くなられた方、被災された方々がたくさんいます。心からお悔やみ、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈り、私たちにできる限りの支援をしたいと思っています。
こうした災害は、遠い地で起きていることではなく、明日は我が身と捉えなければなりません。いつ起こるか分からない災害から市民の生命と財産を守るために、防災に対する備えを怠るわけにはいきません。

プロフィール

1962年（昭和37年）6月12日生まれ
鎌庭地区在住
茨城県立下妻第一高等学校卒業 /
中央大学理工学部管理工学科卒業
2003年～2018年
千代川村議会議員、下妻市議会議員
2018年～2026年 下妻市長
2026年8月2日 下妻市長3期目就任

【議会役歴】
下妻市議会副議長、総務委員長、経済建設委員長
【座右の銘】積小為大

少子高齢化による人口減少、農業、産業の活性化、防災・減災、教育、福祉など課題は尽きません。こうした課題解決に向け、対話とコミュニケーションに重きを置きながら進めていきたいと考えています。
下妻がこの先も「選ばれるまち」として、生き残っていくには、目の前の課題を解決しながら、5年後、10年後を見据え、決断し進んでいく必要があります。誰もが安心して暮らし、挑戦でき、次世代に誇れるまちへ成長させるために力を尽くし、精一杯、働いてまいります。
最後になりますが、市民の皆さまの声を出発点に、安心な暮らしを守り、子育て、教育、福祉、防災、地域の賑わい、農業、産業の活性化など、あらゆる分野全体のバランスを取りながらまちの未来を形にしていきたいと思います。より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。